

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	看護部	総括責任者	看護部長 稲村 ほづみ
—		副責任者	副看護部長 山中 享子 千葉 多恵子

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

①チーム医療やタスク・シフト/シェアの推進及び医療サービスの充実にもつなげる、特定行為看護師の育成機関となることを目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
特定行為研修指定医療機関として、特定行為看護師の育成を行う。	診療部 看護部	10月特定行為指定研修機関認可	救急パッケージ、栄養に係わるカテーテル管理(PICC)	実績なし

## II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

①患者目線での看護の提供、ホスピタリティの向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
抑制帯使用率の減少を図る。	診療部 看護部 多職種	抑制帯使用率・転倒転落インシデント件数・認知症ケアチームラウンド数	抑制帯使用率15%未満	抑制帯使用率21% 認知症ケア加算2取得

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

①効率的な病床運用と人材配置を行い新入院患者の受入を積極的に行います。  
②人材確保と定着を重視した活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
ICUとHCUの再整備と拡充する。	診療部 集中治療室 看護部	ICU8床、HCU4床の稼働状況と収益	ICU8床、HCU4床稼働80%以上	HCU10床運用稼働66.2%
看護学生への採用広報活動を強化する。	看護部	入職者数	新卒看護師36人以上・既卒看護師6人以上/年	新卒34人・既卒4人/年
定年延長に伴う看護師・管理職経験者の効率的な活用について検討する。	看護部	業務内容の把握と設定	業務内容の具体案を作成	実績なし

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	看護部	総括責任者	看護部長 稲村 ほづみ
—		副責任者	副看護部長 山中 享子 千葉 多恵子

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①チーム医療推進と、看護の質を向上することに寄与する特定・認定看護師の育成を計画的に行います。  
②人材定着のために看護職の働き方についても見直しを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
特定行為看護師を院内で育成する。	看護部 診療部	受講者数、診療報酬対応	救急パッケージ受講：2人/年 栄養に係わるカテーテル管理(PICC)受講：2人/年	実績なし
認定看護師を計画的に育成する。	看護部	がん看護系認定看護師教育課程への応募状況	がん化学療法認定看護養成学校受講可1人/年	1人/年 (認知症ケア認定看護師)
始業開始時間を適正化することで、看護師のWLB等の処遇改善に繋げる。	看護部	始業開始時間遵守状況、持参薬の取り扱い、適正な指示出し	全ての部署において、始業開始時間の適正化遵守	救急、ICU、小児、外来、手術室以外の部署の看護師が夜勤時2時間前出勤をしている

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院外の看護に係わる学生等に対して、教育的指導を行う機会を増やします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
看護学校や地域へ講師派遣件数を増やす	看護部	講師派遣数	30件/年	11件/年
看護の実際を動画にしてホームページへアップ	看護部 特定・認定看護師	ホームページ等への動画アップ件数	2本	なし

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	全科	総括責任者	室長 中川 基人
—	ICU・CCU	副責任者	看護科長代理 高橋 しのぶ

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

多職種と協働し、質の高い高度な医療を提供するICU,CCUの運営を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
早期(入室後48時間以内)にリハビリが開始出来る	医師・看護師・リハビリ技師	早期離床・リハビリ加算取得人数	960人	709人 (7月～3月)

## II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者・ご家族から信頼・安心される環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
患者・御家族の要望を十分に聴取し、丁寧な説明を行う	医師・看護師	お褒めの言葉	9件	9件
意思決定支援に参加する	医師・看護師・多職種	基準に沿ったIC時の対応	100%	100%(同席できない場合のその後の対応を含む)

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	全科	総括責任者	室長 中川 基人
—	ICU・CCU	副責任者	看護科長代理 高橋 しのぶ

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

特定集中治療室加算取得に向け効率的な病床運用を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
重症度・医療看護必要度の加算基準をクリアする(ハイケア用)	医師 看護師	A 項目3点以上B項目4点以上	91.00%	90.45%
重症度・医療看護必要度の加算基準をクリアする(特定集中治療室4加算取得後は特定集中治療室用)	医師 看護師	A 項目3点以上	70%	—
病床利用率の向上	医師 看護師	病床利用率	100%	66.2%

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

ICU,CCUとして質の高い看護を提供出来る看護師を育成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
急変の対応が出来る看護師の育成	看護師	BLS研修参加者数	15人	20人
院内、院外研修参加	看護師	参加数	1人あたり5回	1人あたり5回

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
周術期に関わる看護学生の受け入れ	看護師	受け入れ人数	12名	12名
認定看護師による地域での講義の実施	認定看護師	実施回数	1回	0回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	薬剤科	総括責任者	部長 高田 みゆき
—		副責任者	科長 門倉 徹

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
入院臨時注射の払出し方法の変更	薬剤師、医師、看護師	臨時注射薬品の使用状況把握	入院臨時注射の注射調剤システムによる払出しの導入	—
外来化学療法におけるバイオ後続品の促進	医師、薬剤師	後続品の使用本数	対象患者へ実施	63本
術後疼痛管理加算取得に向けて薬剤師研修	薬剤師	所定の研修終了	1～2名	—
薬剤師の人材確保に努める	薬剤師、事務職	応募数	募集数以上の応募数の確保	募集数5名／応募者15名

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや地域市民のみなさんへ薬の正しい服用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	13,000件	13,177件
薬業連携の推進	薬剤師、医師、看護師、病診連携、保険薬局	地域かかりつけ薬局との連携を図る	その他レジメン公開及び連携充実加算取得	肺、食道、胃、肝、胆道、大腸癌レジメン公開

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	薬剤科	総括責任者	部長 高田 みゆき
—		副責任者	科長 門倉 徹

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ・薬品購入費の削減に努めます。
- ・服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	13,000件	13,177件
外来化学療法におけるバイオ後続品の促進	医師、薬剤師	後続品の使用本数	対象患者へ実施	63本
後発薬品使用体制加算1の継続	薬剤師	後発品の切替え率	90%以上	90%以上
薬薬連携の推進	薬剤師、医師、看護師、病診連携、保険薬局	地域かかりつけ薬局との連携を図る	その他レジメン公開及び連携充実加算取得	肺、食道、胃、肝、胆道、大腸癌レジメン公開

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内職員に学習の機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
医薬品安全管理研修会の開催	薬剤師	講演回数	1回	1回

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学期発表など学術活動の充実を図ります。
- ②情報発信により、地域貢献に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
実務実習受入	薬剤師	学生実習受入数	3人	6人
院外薬局への講習会の開催	薬剤師、医師	講習回数	6回	5回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①MR2台体制により平日検査検査枠を1.5倍にし検査数増加に努めます。
- ②開業医に医療機器の共同利用をして頂くために機器の説明訪問します。
- ③整形外科カンファレンスに参加し、技術科への要望に対応します。
- ④高精度放射線治療を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
昨年度末に導入完了したMRの平日予約枠の1.5倍にする	放射線技師、診断部医師、看護師	7,500枠	7,500枠	土日抜いた実績5,023件
紹介患者獲得のため開業医へ訪問	放射線技術科管理職、地域連携室	地域連携室依頼に90%同行	地域連携室依頼に90%同行	17件、100%
整形外科カンファレンスに参加	放射線技師、整形外科医師	要望応需率	整形外科要望応需率	なし
高精度放射線治療の推進	放射線技師	高線量率照射について医師の要望に応えるよう準備する	対応可能にする	なし

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①全診療科の緊急検査にたいして対応能力を強化します。
- ②冠動脈予約枠を拡充します。
- ③現在週2件の予約頭部CTA、CTP枠を撤廃し、特殊検査から通常検査に移行します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
全診療科の緊急検査(特に血管系)に対応する	放射線技師	応需率	応需率100%	応需率100% 330件
冠動脈CT検査予約日、予約枠を拡充する	放射線技師、循環器医師、看護師	検査数	450件	410件
頭部CTA、CTPの検査脳神経内科、脳神経外科予約枠を残し全科依頼用に枠を増やす	放射線技師、診断部医師、看護師	検査数	250件	200件

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療機器の施設共同利用で委託検査を維持、増加に努め収入を安定させます。
- ②放射線機器の修理費の削減に努めます。
- ③ルミネスバッジの無駄なコストを無くします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
委託検査数の維持、増加を目指します	放射線技師、診断部医師、看護師、地域連携室	放射線技術科委託検査数(MR、CT、RI、DXA)	2,000件	1,866件
放射線技術科管理機器の修理費削減	放射線技術科管理職	修理費定価より20パーセント削減	修理費20パーセント	修理費22%削減
ルミネスバッジの配布を適切に行う	放射線取扱主任者、保健指導室、総務課	不在者配布件数	0件	なし

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内外の講習会に参加し専門知識の向上に努めます。
- ②専門資格を維持、推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
各学会、講習会の参加数	放射線技師	延べ参加人数	100名	92名
専門資格の保持、推進への取り組み	放射線技師	延べ有資格者数	40名	40名

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内外で学術、研究、などの活動を行います。
- ②放射線治療の均てん化に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
院内外の講習会、学会等の発表、登録数	放射線技師	発表、登録数	4件	4件
放射線治療施設の標準化への技術部門での貢献	治療科医師、放射線技師、看護師	日本放射線腫瘍学会認定	取得	なし



# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—		副責任者	科長代理	中西 利基

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

医療機器の安全管理に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
機器のME管理の推進	臨床工学科	管理機器を増やします。	2機種	2機種
ME機器の安全使用の推進	臨床工学科	安全情報の掲示を行う。 (仮称 ME安全情報)	12件	—

## II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者満足度を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
わかりやすい情報を発信します	臨床工学科	HP更新数	2回	2回
透析用内シャントの育成を支援します	医師/臨床工学技士	訪問回数	2回/名	1.37回/名

## III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

病院経営を意識した業務実施に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
透析用内シャントの育成を入院期間の適正化につなげます。	医師・臨床工学技士	入院期間の短縮	9.6日	16.5日
医療機器保守管理の推進をはかります	臨床工学技士	修理・点検情報の発信。 (仮称 ME機器たより)	12件	—

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—		副責任者	科長代理	中西 利基

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療機器の使用方法を学ぶ機会を提供します。
- ②知識、技術の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
医療機器ハンズオン体験会の実施	臨床工学技士	体験機種数	4機種	3機種
院外研修・教育会の参加	臨床工学技士	参加回数	3回/名	3.1回/名

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

研究発表など学術活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
研究発表を行います	臨床工学技士	発表数	2回	1回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	臨床検査科	総括責任者	科長	久保谷久子
—		副責任者	科長代理	間地 知子 内田 正則

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域市民に向けた活動を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
乳腺カンファレンスの実施・参加	医師・臨床検査技師・放射線技師	開催数と参加人数	前年度維持	術前週1回・術後週1回
ブルーサークルフェスタ(糖尿病週間)への協力	糖尿病診療対策委員会	共同参加	1回	0回
湘友会(糖尿病友の会)への参加と講義	糖尿病診療対策委員会	講義回数	1回	0回

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに安心・安全かつ快適でわかりやすい検査(採血)を提供するよう努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
患者さんにわかりやすい検査動線の説明	臨床検査技師	受付・窓口での案内説明の実施	患者アンケートでの苦情を0件にする	患者アンケートでの苦情7件(満足度調査にてやや不満以下2.3%・令和4年11月実施)
散人職員採血訓練	臨床検査技師	患者満足度調査のポイントアップ	4.8	4.6

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	臨床検査科	総括責任者	科長	久保谷久子
—		副責任者	科長代理	間地 知子 内田 正則

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
業務効率化による時間外勤務の削減	臨床検査技師	時間外勤務時間数が月20時間越えた人数	2人	4人
スタッフミーティングの就業時間内実施	臨床検査技師	就業時間内実施	50%	0%

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新人教育を行います。
- ②職員の能力向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
各部署における新人教育および当直訓練	臨床検査技師	新人教育評価マニュアルによる評価	各部署での研修と当直業務を可能にする	新人5名の研修及び当直業務達成
学会・研修会への積極的な参加	臨床検査技師	学会・研修会参加回数	平均7回/1人	平均6回/1人

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

学生教育を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
臨地実習生の受入指導	臨床検査技師	受入人数	3人	2人

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	栄養科	総括責任者	科長 古屋 久美子
—		副責任者	主管 菅谷 稚夏

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い栄養計画の立案、実施をチーム医療で展開します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
早期栄養介入管理実施数ICU	管理栄養士、医師、看護師	件数	850件	629件
早期栄養介入管理実施数救急病棟	管理栄養士、医師、看護師	件数	2,000件	1,519件
嚥下調整食の質の改善,献立改定	管理栄養士、NST	件数	30件	未実施

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

おいしく、治療にむすびついた安全な給食提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
当院の治療食紹介、PRの実施(ホームページなど)		回数	3回	未実施
給食での地場産食材の使用	管理栄養士、委託給食会社	実施献立数	10回	未実施
出産お祝膳の献立充実(和洋セレクト実施)	管理栄養士、委託給食会社	件数	1件	未実施

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	栄養科	総括責任者	科長 古屋 久美子
—		副責任者	主管 菅谷 稚夏

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

病院経営を意識した業務実施に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
食材品質を落とさず食材料費を維持する取り組み	管理栄養士、委託給食会社	食材費	900円/日/人	847円
入院栄養食事指導実施数	管理栄養士	件数	1,400件	1,233件

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

働きやすい職場づくりに取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
健康的な食生活支援イベントの開催（職員向き）	管理栄養士	開催数	1回	未実施

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域住民へ健康的な食生活情報の発信に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
糖尿病患者会イベント開催	管理栄養士、糖尿病診療対策委員会	開催数	1回	0回
地域健康教室等の出張講座	管理栄養士	開催数	2回	1回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
—		副責任者	室長代理	片岡 誠

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

安全で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
リスク管理を推進する	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者 セーフティマネージャー セーフティスタッフ	日本病院協会QI 1ヶ月間・100床当りのインシデント・アクシデント件数(中央値)	37.0件	60.0件
		日本病院協会QI 全報告中医師による報告の占める割合(中央値)	2.80%	4.00%
		レベル3以上報告件数	50件以内	35件
		レベル0報告件数	1,000件以上	1,189件
		インシデント・アクシデントレポート第一報報告平均日数	2日以内	1.69日

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

医療事故発生を防止するよう努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
レベル3b以上のアクシデント報告数を前年度以下とする	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者 セーフティマネージャー セーフティスタッフ	レベル3b以上のアクシデント報告数	2件以下	2件
		再発防止策の提案	2種	7種
入院患者 転倒・転落発生率	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者 セーフティマネージャー セーフティスタッフ	日本病院協会QI 転倒・転落発生率 中央値	0.00253	0.0017
入院患者 転倒・転落損傷発生率(レベル2以上)		日本病院協会QI 転倒・転落発生率(レベル2以上) 中央値	0.00056	0.00025
入院患者 転倒・転落損傷発生率(レベル4以上)		日本病院協会QI 転倒・転落発生率(レベル4以上) 中央値	0.00005	0.00001

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
—		副責任者	室長代理	片岡 誠

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療安全対策に関する施設基準を維持します。
- ②医療安全に関わる加算・管理料を取得し、安全対策を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
医療安全対策地域連携対策加算の取得	医療安全管理部門	医療安全対策相互連携施設数	6施設	6施設
ガイドラインに準じた肺血栓塞栓予防の実施	医療安全管理部門	肺血栓塞栓症予防管理料算定件数	2,000件	1,928件
報告書管理体制加算取得 準備	医療安全管理部門	報告書管理体制整備	報告書確認管理者の配置 報告書確認対策チームの設置	臨床検査技師・放射線技師 各1名の受講完了
二次性骨折予防継続管理取得支援	医療安全管理部門	骨粗鬆症に対する知識とFLS意義について職員研修回数	2回	2回

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療安全意識向上に必要とされる職員研修を開催します。
- ②研修会・学会等に参加し知識・技術の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
医療安全研修の開催	医療安全管理部門	研修回数	7回	7回
専門医制度研修の開催	医療安全管理部門	研修回数	1回	1回
院外研修・学会への参加	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者	参加回数	2回/人	3回/人



# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
—		副責任者	室長代理	片岡 誠

## V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療安全に関する情報を提供し地域貢献に取り組めます。
- ②地域医療機関と医療安全に関わる連携・相互評価を行い医療安全意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
地域医療機関 医療者向け医療安全研修の開催	医療安全管理部門	研修回数	1回	0回
医療安全対策地域連携カンファレンスの開催（幹事病院）	医療安全管理統括責任者 医療安全管理者	カンファレンス開催数	6回	6回
医療安全対策地域連携相互評価の実施（監査病院）	医療安全管理部門	相互評価実施回数	4回	4回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	感染対策室	総括責任者	室長 石井 美千代
—		副責任者	臨床検査科 科長代理 間地 知子

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染による入院期間延長を防ぎます。
- ② 抗菌薬の適正使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
広域抗菌薬の適正使用	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	広域抗菌薬使用までの培養検査実施率	85%	不明
周術期抗菌薬の適正使用	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	特定術式における術後24時間以内の予防的抗菌薬停止率(心臓は48時間)	85%	81.80%
尿道留置カテーテル感染防止	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	症候性尿路感染症発生率	2.0/1000カテーテル使用日数	2.5/1000カテーテル使用日数

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

市民の皆さまに向けて感染防止策を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
感染防止策の広報	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	広報回数	1回	なし

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	感染対策室	総括責任者	室長 石井 美千代
—		副責任者	臨床検査科 科長代理 間地 知子

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員の感染対策への意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
全体研修の実施	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	受講率	100%	100%

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
担当職員の育成	薬剤師・臨床検査技師・看護師	会議の運営	会議の運営	なし
学会・研修会の参加	薬剤師・臨床検査技師・看護師	参加回数	10回	24回

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

感染症指定医療機関として地域全体の感染対策向上を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
地域医療機関への訪問指導	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	訪問指導・研修開催回数	7回	7回
保健福祉事務所や医師会とのカンファレンスや訓練の実施	医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師	カンファレンスや訓練の計画と運営	カンファレンスや訓練の計画と運営ができる	4回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長 女屋 早苗
—		副責任者	

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域の機関との連携強化に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
後方連携機関との面談（訪問や連携指導、共同指導を含む）を行う。	医師、看護師、MSW、PSW	面談件数	40施設と3回／年以上面談を行う。	38施設と3回／年の面談を実施。（含共同指導、連携指導）
退院時共同指導を行う。	医師、看護師、MSW、PSW	退院時共同指導料算定件数	10件／月	35件／4月～2月（3件／月）
介護支援等連携指導を行う。	医師、看護師、MSW、PSW	介護支援等連携指導料算定件数	20件／月	105件／4月～2月（9件／月）
入退院支援リンクナース会で訪問看護ステーションとの情報交換会を行う。	入退院支援リンクナースと入退院支援・医療相談室の看	情報交換会開催数	2回／年	0

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域と連携して患者さん・家族に安心安全な医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
がん相談支援センターの充実を図るため、相談員研修を受講し、相談員数を増やす。	看護師、MSW	がん相談支援センター相談員数増加	3名以上にする	実質2名（内1名退職）
患者・家族が安心して、退院することができるように退院時共同指導、介護支援等連携指導を行う。	医師、看護師、MSW、PSW	退院時共同指導料算定件数 介護支援等連携指導料算定件数	10件／月 20件／月	3件／月 9件／月
患者・家族に安心安全な医療を提供するために同行訪問、退院後訪問を実施する。	特定認定看護師、看護師	訪問看護件数	5件／月	13件／4ヶ月で

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長 女屋 早苗
—		副責任者	

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

経営に参画する意識を持ち、貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
入退院支援関連の診療報酬算定を漏れなく行う。	看護師、医師、MSW	入院時支援加算1算定件数 入退院支援加算1算定件数 介護支援等連携指導料算定件数 退院時共同指導料2算定件数	150件／月 600件／月 20件／月 10件／月	118件／月 532件／月 10件／月 3件／月

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上と病院経営の理解に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
学会や院外研修に参加する	入退院支援・医療相談室常勤看護師、MSW、PSW、公認心理師	参加回数	1人年2回以上	年10回以上の職員もおり、平均的には年5回程度院外研修等に参加していたが、年2回未満の職員もいた

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

学生教育を通して、患者を生活者としてとらえることができる医療従事者育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
看護学生の在宅看護論実習を受ける	入退院支援・医療相談室看護師	実習を受け入れた学生の人数		0

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	副責任者	課長代理 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
- ②適正に病院会計業務を遂行します。
- ③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
医療情報システム導入(更新)事務	事務職	スケジュールどおりの進捗	導入完了(GW)及び更新後作業とフォローアップの実施(6月末まで)	(R5.3月まで)スケジュールどおり進展
若手職員と幹部の座談会の実施	事業管理者、病院長、事務職	実施回数 ワークショップへの展開	2回	3回 (R4計画には掲載なし)
ワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度に向けた提案	完了	完了
病院フォーラムへの参加	全職種	発表演題数 傍聴者数	10題以上 100人以上	10題 約100人 (R4計画には掲載なし)
診療録の質的監査の実施	事務職	監査の実施回数	2回	2回

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
診察案内アプリ機能の導入	事務職	導入完了	完了	—
病院PR用パンフレットの発行	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行種類数	2種類以上	4種類発行 (総合、周産期、個室、ロボット)
市民健康講座の開催(院内外、オンライン)	医師、看護師、医療技術職、事務職	開催回数	年2回	開催なし
病院広報誌「SMILE！」の発行	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行回数	4回	4回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	副責任者	課長代理 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。
- ②経営健全化のため、経営改善を実施します。
- ③「(仮称)経営強化プラン」の策定を進めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
(仮称)平塚市民病院経営強化プランの策定	事務職	プランの策定	完了	病院運営審議会での1次案の提示
年度別重要目標の設定と数値管理	事務職	目標設定とモニタリング	完了	完了
若手職員と幹部の座談会の実施【再掲】	事業管理者、病院長、事務職	実施回数 ワークショップへの展開	2回	2回 (R4計画には掲載なし)
「経営通信」の発行	事務職	発行回数	4回以上	4回 (R4計画には掲載なし)
インボイス制度(適格請求書等保存方式)への対応	事務職	財務会計システムの更新制度を理解し、運用する	システム更新 院内での適切な運用	—

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加することで、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
経営マネジメント全般、職員行動計画の策定やデータ分析に関する研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	1回
経理知識の向上を図るための研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	1回
医療情報システムの知識、IT技術を深めるため、システム更新や保守、新技術等の情報収集	事務職	研修会等への参加	年1回以上	2回
院内研修会への参加	事務職	参加数	1人2回以上	1人3.6回
新人職員研修の実施	事務職	実施回数	2回	—
「経営通信」の発行【再掲】	事務職	発行回数	4回以上	4回 (計画には掲載なし)

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	副責任者	課長代理 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

## V 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①持続的な病院の健全経営により、公立病院が担うべき役割を果たします。
- ②患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。
- ③災害に対応できる体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
病院の取組について院内外に発信する(学会等)	事務職	発表数	1回	1回
市民健康講座の開催【再掲】	医師、看護師、医療技術職、事務職	開催回数	年2回	開催なし



# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	病院総務課	総括責任者	課長	野上 正志
—		副責任者	課長代理 担当長	砂川 正 鈴木 昌樹

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療の提供と感染症対応の機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
特定集中治療室加算による診療稼働額の向上	医師、医療技術職、看護職、事務職	当直室等の改修及び備品類の整備	改修及び整備完了	-
感染症対応機能の向上	医師、医療技術職、看護職、事務職	感染病棟等改修事業の基本設計の進捗度	基本設計完了	-

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

療養環境の向上、提供する診療機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
診療機能向上のための機器整備	医師、医療技術職、看護職、事務職	白内障手術装置、内視鏡システム、ホルターシステムの導入と稼働件数	3件	-
利用者からの認知度向上のため救命救急センターの看板設置	事務職	看板設置工事の進捗度	設置完了	-

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	病院総務課	総括責任者	課長	野上 正志
—		副責任者	課長代理 担当長	砂川 正 鈴木 昌樹

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

効果的な資材調達の実施及び働き方改革の推進で、健全経営の実現に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
SPD業者との調達協議及び診材の見本市開催	医師、薬剤師、事務職	開催回数	4回	4回
医師に働き方改革推進のための新労務管理システムの稼働	医師、事務職	労務管理システム稼働の進捗度	稼働完了	-
時間外削減と職員の健康維持のため、ノー残業デーの実施	事務職	課員全員帰宅回数	12回	13回

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

病院事業の発展のため、職員の能力向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
事務職向け研修会への積極的な参加	事務職	事務職向け研修会参加回数	4回/人	3.85回/人
学会及び病院フォーラムでの発表	事務職	発表数	2件	2件
施設管理に必要な国家資格（危険物取扱者ほか）の受験	事務職	国家資格試験の受験	1件/施設チーム	-

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

市民への医療情報の提供と病院周辺環境維持に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
出前講座（公民館）の開催	医師、医療技術職、看護職、事務職	公開講座開催数	12回	7回
敷地周囲の清掃活動	事務職	活動回数	6回	6回

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	谷川 展章 木村 隆之 芦野 義明

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療の質の向上と効率化を図ります。  
②地域医療連携の更なる強化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
クリニカルパスの整理と利用促進	事務職	パス利用率	50%	30.24%
登録医当日紹介ホットラインの再開及び循環器ホットライン、脳卒中ホットライン、小児科ホットラインのアピール強化	事務職	認知度	80%	58%

## II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①マイナンバーカードの普及に伴う、電子化拡大の利点を生かし、患者サービスの向上を図ります。  
②経営的インパクトのある施設基準を取得する。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
電子処方箋の導入	事務職	実施有無	有	-
IC・CCU病棟の特定集中治療室管理料の取得	事務職	実施有無	有	-

# 職員行動計画書

【令和5年度】

所管部署	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	谷川 展章 木村 隆之 芦野 義明

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
担当業務量の見直しを行い、時間外勤務を削減	事務職	時間外勤務時間	課内平均 10h/月減	—
未収金徴収の業者委託による未収金繰越額の縮減	事務職	未収金額	未収金繰越額総額の8%減	—

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】62～63ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①「人」としての質と「組織」としての質を高めることができる風土づくりを推進します。  
②委託業者への研修をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
院外の研修会に参加し課内にフィードバック	事務職	件数	1人につき年1回	—

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】64～66ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

積極的に地域活動や人材育成などの社会貢献活動に参加協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R5目標値	R4実績
救急救命士病院実習受入人数	事務職	人数	毎年55人以上	84人